

# 働学の絆

## 第二十二回同窓会に向けて



三条高等学校同窓会定時制部会  
部会長 曾根 忠一郎

「令和」二年の三条高等学校定時制部会の同窓会は、二十回目の節目となる記念すべき会となる予定でした。しかし、残念なことに今回は中止となりましたが、ここまで同窓会が出来たことは、これも偏に三条高等学校同窓会長はじめ、校長先生、役員、これまでご参加いただいた卒業生の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

振り返ってみれば、私が入学した「昭和」三十四年当時は、まだ木造の校舎でした。一部が鉄筋コンクリート造りの増築中で、場所も南四日町。校舎とグラウンドの間に市道が通っており、体育の時間には通りを渡らなければならぬ変則的な敷地でした。たくさんの方の青春のページを彩ってきたが、平成十七年に、三条駅の反対側となる三条市月岡一丁目二番一号に移転。竣工記念に植えられた木々も大きくなり、現在では高

校生の憩いの森となつていま す。まだ訪れたことのない方は、ぜひ立ち寄ってみてください。さて、同窓会も回を重ねる度に参加者が少なくなり、特に平成十三年の定時制部会設立にご尽力いただいた先輩方々が亡くなられたり、体調を崩されて参加を辞退される方も多くなつてきており、さみしい限りです。今後は、自分自身の体調管理を徹底しつつ、若い方々の参加もお誘いして、できるだけ多くの「同窓」の仲間、そして恩師とともに、定時制で学んだこと、楽しかったこと、あれから乗り越えてきた苦難など思い出を笑って語り合えたらと思っております。

また、第六号となる定時制部会報「働学の絆」も、多くの皆様より寄稿いただき、いつもと違う内容となっております。令和三年の第二十二回同窓会では多くの皆様と語り合えることを楽しみにしております。

三条高校同窓会定時制部会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓会活動に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、新型コロナウイルスの感染拡大により不安な日々を過ごす中、我が母校でも在校生が活動自粛を余儀なくされております。同窓会でも、会員の皆様の健康と安全を最優先に、また社会全体の感染拡大防止に努める為、断腸の思いで五月一日の三条高等学校同窓会総会・懇親会ならびにゴルフコンペ「源泉杯」を中止とさせて頂きました。参加を心待ちにされておられました会員の皆様には心よりお詫び申し上げます次第です。今私たちが何をすべきかをポジティブに考え、皆様とこの困難を乗り越えたいと思っております。そして、明るく年には盛大に大切な方と同じ時を過ごすことができることを心より願っております。

昨年初めて参加させていただいた定時制総会・懇親会では、大先輩の皆様とアコーディオンの伴奏と共に大合唱し楽しい時を過ごさせて頂きました。私は定時制を卒業した父や叔父の経営者としての背中を見て育ちましたが、在学当時の様子を思い浮かべる機会はありませんでした。しかしながら、定時制部会の先輩方の活気あふれるお姿に、当時から勉学と勤労を両立されたバイタリテイ溢れる熱い思いを感じずにはいられません。我が母校三条高校は、令和四年に百二十年を迎えます。歴史と伝統の重みを誇りとし、明るい未来を見据え、来る百二十年に向けて、同窓会員のため、母校のため、そして後輩のため、さらには社会のために何をなすべきか、どのように繋げていくのかを学校と連携しながら考え実践してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

先日、同窓会定時制部会の代表の方々にお越しいただき「泉の森」への御寄附をいただきました。日頃のご支援をありがとうございました。当日、にこやかにお話しをされる御様子から三高定時制で学んだことへの誇りが伝わって参りました。しかし、働きながら高校を卒業された困難は想像に難くありません。創立九十周年誌には「働きつつ学ぶ」という事は決して生易しいものではなかった。苦しかった毎日、しかしその辛さの中に見出す学校生活の良さ、それは勤労学生のみ知り得る一つ

三条高校玄関

内田校長へ寄付金のお届け



三条高等学校同窓会  
会長 野水 重明

## 定時制部会の先輩方に感動

このたびの異動により、校長として着任した内田卓利でございます。伝統校である三条高等学校への赴任は、たいへん光栄なことであると思っております。さて、令和二年度は、新型コロナウイルスの關係で予定していた教育活動の時期や形態を変えながらのスタートとなりました。この原稿を書いている現在は臨時休業中ではありますが、生徒たちには、百年に一度といわれる状況下で過ごす現実を自身の「自主自律の涵養」と「情操豊かな人間性と創造力の育成」に、ひいては将来の自分に活かしてほしいと願っています。

このたびの異動により、校長として着任した内田卓利でございます。伝統校である三条高等学校への赴任は、たいへん光栄なことであると思っております。さて、令和二年度は、新型コロナウイルスの關係で予定していた教育活動の時期や形態を変えながらのスタートとなりました。この原稿を書いている現在は臨時休業中ではありますが、生徒たちには、百年に一度といわれる状況下で過ごす現実を自身の「自主自律の涵養」と「情操豊かな人間性と創造力の育成」に、ひいては将来の自分に活かしてほしいと願っています。

の言い得ない喜びである」とあります。辛さの中に見出される学校生活の良さは、確かにその経験者にしか味わえないものですが、定時制で学んだ先輩方が、後輩である現在の三高生に対し意義深く高校生活を送るために残して下さった教訓とさせていただければ、幸いに思います。同窓会定時制部会の皆様におかれましては、今後も引き続き、母校・三高を応援してくださいませよう、よろしくお願ひ申し上げます。

三高同窓会ホームページ <http://www.sanjo-dosokai.gr.jp> スマホ・タブレットでもご覧頂けます。



三条高等学校  
校長 内田 卓利

## 新任のご挨拶



### 令和2年度 三条高校定時制部会の総会 中止のお知らせ

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素は三条高校定時制部会の活動にご理解ご協力をいただき、まことにありがとうございます。  
でございます。

報道でもご存知の通り、世界を震撼させている新型コロナウイルスが、国内でも爆発的に感染拡大し、感染者数も死亡者数も日を迫る毎に増加してきております。  
このような社会の現状と今後の行く末を鑑みて、6月に予定していた20回目の  
記念すべき同窓会についても、断腸の思いではありますが、中止とさせていただ  
くことにいたしました。

なお、「働学の絆」6号は、皆様からお寄せいただいた寄稿と、これまで開催して  
きた同窓会から懐かしい顔などを抜粋して予定通り発行いたします。  
ぜひ楽しくお読みいただけると幸いです。

元気で、健康で、第21回同窓会でお会いしましょう。楽しみにしています。



同窓会準備会

令和2年4月8日



満開の桜

三条ものづくり学校

新潟市西蒲区 上堰潟公園



嵐溪荘



花ミモザ

神苑の  
光をしぼる弓始

着ぶくるる影も畏みかしこ

献灯祭

ぐいつといたたく  
立春の搾り酒

花ミモザ  
心をつなぐことば欲し

書肆の棚めぐる  
至福や春夕焼



司 雪絵



# 卒業ビデオアルバムの 思い出

## ～恩師よりビデオ提供がありました!～



恩師 中島 郁雄

同窓会中止の案内ありがとうございました。

昭和61年4月から平成3年3月まで5年間勤務していました。

当時は4学年で100人以上の在校生が居り、球技大会（ナイター施設でのソフトボールもあった）や体育館での体育祭、1月の冬休み明けの餅つき大会など楽しかった行事のことが思い出されます。

※卒業ビデオアルバムは私が作ったものです。当時卒業式の中で上映していました。



午後6時 定時制の授業が始まる



1時間目が終わると給食の時間だ



午後9時15分まで授業は続く



午後10時までがクラブ活動の時間だ



昭和63年バレー部は全国大会に出場



平成2年バスケット部は県大会準優勝

それぞれに多少の時代の差はあっても卒業生が、現代と異なって不自由さと貧しさがあつたゆえに、自分の最もしたいことに早く気づくことができたことであり、書物が貴重だったから懸命に読み、潜心、師のことに耳を傾けたために内部に真摯なロマンが育つたのだと思つた。あふれる自由、豊饒さは青年をだめにするという今日、一般論は必ずしも真理ではないと思うと同時に、何ごとにもよらずあるストイックな壁がなければ事は成熟しないということを学び、体得できたことは、三高定時制で学んだ卒業生の宝物であつたと思つた。記念誌の表題は「働学の地ここにあり」と記されてある。

定時制のすばらしいところは「温かさ」だったと四十五回卒Oさんは結んだ。それだけに多少の時代の差はあつても卒業生が、現代と異なって不自由さと貧しさがあつたゆえに、自分の最もしたいことに早く気づくことができたことであり、書物が貴重だったから懸命に読み、潜心、師のことに耳を傾けたために内部に真摯なロマンが育つたのだと思つた。あふれる自由、豊饒さは青年をだめにするという今日、一般論は必ずしも真理ではないと思うと同時に、何ごとにもよらずあるストイックな壁がなければ事は成熟しないということを学び、体得できたことは、三高定時制で学んだ卒業生の宝物であつたと思つた。記念誌の表題は「働学の地ここにあり」と記されてある。

一期生は特に年長者が多く話題も豊富。いつも教えられた。卒業後も校歌の詞に人生の指針そのものが示されて私の座右の銘となっている。この原点は定時制で培われたものでその心だけは持ち続けたいと思う。私の人生のスタートは定時制時代にあつた（十回卒のNさん）。太陽は情熱、月は知性、定時制は知性の殿堂だつた（十九回卒Tさん）。とこの思いは後に受け継がれた。そのような卒業生の師として定時制の教育の一筋に歩まれ、多くの生徒から親しまれたS先生、私も一度は先生の講義を拝聴したかつた、その存在は忘れてはなるまいと思つた。定時制のすばらしいところは「温かさ」だったと四十五回卒Oさんは結んだ。

ずっと忘れない

三高同窓会常任理事 高木 正夫





### 同窓会の広場

会員様よりの寄稿を掲載いたしました。

#### 先憂後楽

昭和三十年 第二回卒

鈴木 四子二

昭和二十六年に高校へ入学し、三十年春に卒業、上京して早や六十五年経過しました。私たち一回生が入学したころは、戦後の混乱期から社会が落ち着きを取り戻すまでの通過点であったと思われ

ます。私は、貧しい農家に生まれましたが、多くの人がその日の生活がやつとという環境であったようです。在学中は生家で寝起きし、昼間は四日町小学校前の書店で働き、そのあと高校へ通学というのが一日の生活サイクルでした。卒業後上京し、新聞販売店で住み込みで働き、朝夕刊の配達をしながら昼間専修大に通学、勉強を怠つて、四年後四苦八苦の末、ようやく卒業しました。高校から大学までの九年間の苦闘は、その後の私の人生に大いに役立ったと自負しています。

高校入学時の教室は裸電球で蛍光灯に変わったときの感動、大学時代は寝不足で睡魔に襲われたことが今も脳裏に浮かびます。私の師が人生「先憂後楽」と良く口にされていました。私もこの格言を座右の銘とし、これからも生きたいと思います。

#### 今はイヤ



昭和三十六年

第七回卒

村上 聖一

喘息は発作的に咳込んで呼吸困難になる病気。昨年夏七十七年間生きて来て初めてこの病気になる一瞬死もヨギリました。産業医をお願いしているドクターに診てもらおうと「処方箋は塩分と水分を摂りなさい、昨今は塩分を控えるが通説だが塩分は大変重要、夏に大汗を出したら其の分補給しなさい、味噌汁や漬物を食べなさい。」加齢と熱中症が重なったようでした。十一月に快復したのですが既に会社もバトンと渡し、終活で遺言書も数回書き直しその他書類も整理し、自宅の自室もかたづけしてある。

女性歌手のテレサ・テンもこの病で亡くなった。充分生きたので死ぬのは何時でも良いと準備はしていたが喘息で息が出来ないのは苦しい。又怪我で痛いのもイヤ、何時死んでも良いのですが「今はイヤ」



#### 仲間という財産

昭和三十六年 第七回卒

若林 美枝子

十数年前、或る結婚式に出席したときのことです。親戚代表の挨拶に立たれた人は何と！かつて定時制時代の同級生でした。卒業以来一度も会う機会がなかった彼が、思いがけずマイクの前立った時、私はどきどきする胸の高鳴りを押さえて、「どうかうまくいきますように」と身内のような気持で祈っていました。思えば卒業してからの長い歲月の間に人生経験を積み重ね、各方面で活躍をされているのに、我を忘れて思わず同志の身を案じている自分がおかしくもあり余計なお世話でもありました。後日この事を主催者の方に話したところ、「貴方たち定時制の仲間は兄弟よりも固い絆で結ばれているんだねえ！ 弟が羨ましい」と言われました。人生長い間の交友は利害関係が絡んでいることもある中、喜寿を超えてもなお純粹に思い遣る友がいることは、私の大きな財産だと思っています。



思い上がりかな？

#### 今、思うこと

平成十年 第四十四回卒

岡 明子

十七の春、「昼間は仕事」「夜は学校」という生活をスタートさせ

た。当時の私はこの生活が苦とは思わなかったが、恥ずかしかった。世間一般の十七歳は、昼間に学校に通っているからだ。自ら決めたこととは解っているものの、心の奥底で恥ずかしいと思っていた。その「恥ずかしい」という気持ちが無くなったのは何時なのか定かではない……。

高校・専門学校を卒業し、就職。毎日が慌しく過ぎていく中で、いつの間にか気にしなくなった？ いや、気にならなくなった。十代の頃お世話になった社長さんに

「今」を一生懸命やれ」と言っていたのだ。ただただ自分のできることを一生懸命やってきた。これからもその言葉を胸に。



新潟市 北方文化博物館 大藤棚

八木ヶ鼻



自分だけの一杯、に出会う。

一緒に、つくる。お客様と。

<http://www.twinbird.jp>

**ツインバード工業株式会社**

新潟本社：〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田 2084-2  
TEL:0256-92-6111

次号からも皆様の寄稿をお待ちしております。スマホ・タブレットでもご覧頂けます。



気持ちの持ちよう

昭和四十八年 第十九回卒  
増田能知

幸福と不幸は、人それぞれの考え方によって違う事は解ると思えます。正に表裏一体です。少し前迄国民の大半が中流階級の意識を持っていました。物は豊富にあるし、食べる物にも不自由を感じない時代になったのです。正に暖衣飽食です。

物や食物だけではありません。メディア、情報、その他の世界でも年々豊かになり、とても付いていけない時代になりました。

このどれかが欠けても不満(不幸)を感じるのです。これでは永遠に欲望だけが心に残ります。しかし、欲は欲でも想像欲を豊かにする事で様々な欲望を忘れる事(?)が出来ると思います。結局、自分を知る(難しい)事と、意識の変化が必要だと思います。

最後に私が幸福と思う時は  
美酒佳希

本成寺 赤門



### 同窓会事務局への メッセージ

第六回卒 加藤菊江

同窓会のご準備をなさっていただ中での中止のご決断、いろいろとご苦労がお有りだったことと思います。今年度は『働学の絆』で同窓の絆をしつかり結びましょう。

みなさまのご健康を心より祈っております。

第七回卒 佐藤朝子

お世話になっていきます。中止の件よろしくお願ひ致します。皆様の健康とご活躍をお祈り致します。

第三回卒 鈴木米子

私は、鈴木米子の長男であります。母は昨年三月に交通事故故で入院直後に脳梗塞を発症し左半身麻痺のため、八月からおじまの里に入所中でございます。折角、貴会からのご案内、感謝申し上げる次第であります。今後出席することは不可能と思われます。

遅い返信で誠に恐縮ではございますが、これまでの御厚情、ありがとうございます。貴会の益々の発展と会員様のご健康を祈念申し上げます。

第十二回卒 大谷イヨ

時節柄、皆様のご健勝をお祈り致します。総会は役員に一任致します。

第十三回卒 佐藤一夫

いつもご苦労様です。会長様始め役員の方々のご健勝をお祈りして居ります。

第十五回卒 金子政子

東京都は感染者が増え、大変な状況です。外出自粛要請もあり、三月の墓参も中止し、最低限の独居の方のお世話に出るだけになっています。

マスク、ゴム手袋などは支給品もあり困ってはいませんが、感染の恐怖を抱えながらわずかな外出をしております。

事務所やスーパーもビニールを貼ったり、床には間隔を開ける為のラインを貼ったり、それぞれ工夫されています。

終息を待つばかり・・・？笑顔でお会い出来る日を楽しみに頑張ります。乱筆乱文にて失礼！

第十九回卒 笠原美代子

想像だにできなかった現在の世界状況、戦争を知らない私には初めて味わう生命(経済の)危機感、「人間には」の「真価」を考える時を頂いています。

時には息苦しくさえ感じる日々、一時一時を大切に過ごしたいと思っております。

匿名

前略 先日、今年の同窓会・懇親会の中止のご連絡拝受了解しました。新型コロナウイルスの感染拡大につきましては、誰がいつ、どこで感染してしまいか分からないから誰もが不安に思わざるを得ないので、本当に困った問題ですね！  
私もは、できるだけ三密を避け、免疫力を上げるような食事をとり、体力維持に努める生活をする事かと思っております。

お互いに、新型コロナウイルスにかからぬよう注意をしたいと思います。  
草々

匿名

私が定時制最後の卒業生となつて十年がたちましたがほんとな長いようで短い感じでした。震災や原発事故、台風や集中豪雨などといった自然災害もありましたが、今は新型コロナウイルスの感染拡大が日本を含め世界で広がっています。苦境に負けず頑張っていきましょう。

お葉書のみいただきました。

第一回卒 齋藤善一

第九回卒 増井 清



**庖丁工房** オンラインショップ はじめました。  
タダフサ <http://www.tadafusa.net>

庖丁工房タダフサ ファクトリーショップ  
三条市東本成寺27-16 電話 0256-32-2184  
営業時間：9:00~18:00 (定休：日曜/祝祭日)

在宅介護の  
アレック **ALEC 北栄** 高齢者と介護者の暮らしをお手伝い  
Assistance for the Life of the Elderly and their Care-givers

株式会社 北 栄

昭和36年 第7回卒 村上 聖一  
本社/長岡市雨池町44-5 TEL(0258)28-0629 FAX(0258)28-0640  
新潟/新潟市中央区愛宕2-10-2 新潟/新潟市秋葉区金沢町3-1-9  
新潟東/新潟市東区船江町2-5-15

「働学の絆」は皆様の寄付金で支えられています。

三高同窓会ホームページ <http://www.sanjo-dosokai.gr.jp> 定時制部会の「働学の絆」が掲載されています。





三高大時制ありがとうございます！

昭和四十四年 第十五回卒

金子政子

「もうこんな年令になったのか？」と思う日々を過ごしています。

働きながらの夜の勉強の四半間は、大変だったけど楽しい給食時間がありました。

一時限授業が終わって、給食室への移動時は「今日はどんな物かしら？」と思うだけで昼間の仕事の疲れがスーッと消える感じがしたものです。

考えてみれば「定時制に行きたい」と言うだけで、「贅沢な...？」と思われても仕方ない程の貧しい家庭の産まれでした。

父の顔も知らず、頼りにしていた母も中学一年で亡くなりすぐ働くしかなかったのに、四年間頑張つて、卒業も出来て良かったと思ひながら生きています。

いろんな事が有りましたが、元気でいられることは大変ありがたいたい事と存じます。

今年、新型コロナウイルスの予想外の感染力に、広がる不安のもと、一般参観中止や東京マラソン一般の人達の参加中止など、東京オリンピック・パラリンピックにも不安が広がります。最低でも年一回の墓参りに出かけられることを喜んでいきます。

趣味と私

昭和四十二年 第十二回卒

田巻直人

私の趣味は園芸です。十五年前頃から、シクラメン、胡蝶蘭、ローズマリー、ハイビスカス、コーヒーの木等等を育てて楽しんで来ました。八年前、東京農業大学で園芸福祉入門講座を受講後一層、花や緑が好きになりました。花や鉢物の植物を育てることで、これまでどれ程楽しみ、癒され、安らぎを与えられてきたことかと改めて思っている昨今です。

たとえばシクラメンは十二月初旬から四月中旬位まで毎年美しい花を次々と咲かせ、健気に頑張っているのを見るにつけ、ガン手術を二度もしている私は、シクラメンの頑張りを自分も見習わなくてはなあーと思ったりもします。

また、育てた鉢物を園芸好きな人に差し上げると、とても喜んで下さる場合が多く、こちらもうれしくなります。そんな訳で健康や仲間づくりにも適した園芸ファンが増えることを願っている私です。



学業と仕事の両立

昭和四十七年 第十八回卒

桑原健三

自分は、魚屋で働いていました。店の人の理解があり、一年生、二年生の時は気持ちよく時間になると上がらしてもらっていました。

バイクの免許を取り、車の免許を取り、仕事も多くなつて、店が忙しくなり、学校が終わつてからも仕事をしました。でも休みがみんなとちがつて、日曜日、祝日、お盆、正月が忙しくて休めず、とても苦労をしました。

しかし、そんな中で勉強と仕事の両立ができたのですから店の人には、本当に感謝しています。

匿名

新型コロナウイルス感染防止で「不要不急の外出自粛要請」の文字を毎日のように目にする状況の中、雨の日以外、毎日近くの私の畑(二百坪)の誰一人居ない、会わない処で一日中家庭菜園に興じています。公共施設の行事や諸々のスケジュールがすべて中止、四ヶ月間外出する当ても無い日々の畑はせめても私の救世主である。

新型コロナウイルスが、いち早く終息すること、元気な同窓生の皆様と再会できることを願っています。



寄付金サポーター

令和元年度も多くの方にご支援いただきました。会報発行費として大切に活用させていただきます。本年もよろしくお願ひします

- 昭和30年 第1回卒 鈴木四子二
- 昭和30年 第1回卒 道見 静江
- 昭和32年 第3回卒 外山 忠弘
- 昭和32年 第3回卒 村井吉太郎
- 昭和32年 第3回卒 栗山 茂
- 昭和32年 第3回卒 渡辺藤之進
- 昭和32年 第3回卒 羽生 敏夫
- 昭和33年 第4回卒 石月 了太
- 昭和33年 第4回卒 小林 由夫
- 昭和34年 第5回卒 笹川 正司
- 昭和34年 第5回卒 植木 憲一
- 昭和34年 第5回卒 藤井 洋子

- 昭和35年 第6回卒 加藤 菊江
- 昭和35年 第6回卒 塩野 紀子
- 昭和36年 第7回卒 野水 重勝
- 昭和36年 第7回卒 村上 聖一
- 昭和36年 第7回卒 今井 徹郎
- 昭和36年 第7回卒 宗村 亮子
- 昭和36年 第7回卒 若林美枝子
- 昭和36年 第7回卒 新倉千鶴子
- 昭和36年 第7回卒 渡辺 チヨ
- 昭和37年 第8回卒 森山 寿栄
- 昭和38年 第9回卒 曾根忠一郎
- 昭和38年 第9回卒 帆苺 正孝

- 昭和38年 第9回卒 山田 洋子
- 昭和38年 第9回卒 諸橋 幸枝
- 昭和38年 第9回卒 関根 智歌
- 昭和38年 第9回卒 国府田良雄
- 昭和38年 第9回卒 出羽 勝
- 昭和39年 第10回卒 野水 秀勝
- 昭和39年 第10回卒 横山 秀雄
- 昭和39年 第10回卒 石田 信子
- 昭和39年 第10回卒 野崎美恵子
- 昭和40年 第11回卒 大谷 イヨ
- 昭和41年 第12回卒 淡路 信雄
- 昭和41年 第12回卒 田巻 直人

- 昭和42年 第13回卒 佐藤 一夫
- 昭和42年 第13回卒 野沢ミチエ
- 昭和44年 第15回卒 金子 政子
- 昭和47年 第18回卒 桑原 健三
- 昭和50年 第21回卒 飯塚 重美
- 昭和54年 第25回卒 大竹 明美
- 平成11年 第45回卒 山崎 貴弘
- 平成17年 第51回卒 長瀬嘉之助
- 平成23年 第57回卒 神田 真

皆様の御協力ありがとうございます。ごぞいました。





# 恩師だより

## 健康スイミング



恩師 田村忠夫

昨年、東公民館(三条)での俳句の会で、六十四人の参加中、序列ピリの悲哀を味わった。今年も婦人スキークラブに誘って貰い、野沢・尾瀬岩倉で滑って来た。頭と体のバランスが取れずスキーの限界をつくづく感じた。自分は冠動脈の一本が機能していないので、少し体を動かすと息切れを感じる。膝痛の者が心肺を強化するには水泳が良いと思ひ、週三回を目標に、昨年暮れからプール通いしている。効果的な泳法を動画で探ったりもしている。

水中ウォーク三十分、残りは泳ぎ・クイックターンの練習などで一時間で終える。

時折、高校の水泳部が練習にやっ来て、激しく泳ぐので、圧倒されつつも良い刺激を受けている。毎年、風邪に悩まされたが、その兆しも無いのは泳ぎが効いているのかと思う。

## わたくし事

恩師 福島正彦

私は昭和四十七年から七年間勤務させていただきました。桜木町の三高教員住宅に家族三人住まわせていただき、当時隣に田近先生、酒井先生、首藤先生のご家族も住んでおられ、心強く感じたものでした。

ある四年生の手記『苦あれば、楽あり』という言葉を感じて、今は苦しいけれどいつか楽しい事が必ずくる。そう思っ頑張っている。』に刺激を受け、私は自分の力量をつけ授業にいかしたいとの思いになり、「大学の通信教育」を受けることにして、午前中はその勉強、レポート書きをやったものでした。

振り返ってみますと三高定時制は、至らない私を育ててくれた学校であったと思います。後期高齢者となった現在、時々過ぎしのあの時代をなつかしく思い出します。今でも担任した当時の生徒の一人から年賀状をいただいております。

## 今年八十四才になりました



恩師 首藤隆司

毎年、懐かしい顔に会い、楽しくおしゃべりが出来る会があります。三条高校同窓会定時制部会の総会です。今年もその日が近づいて、楽しみにしています。青春時代を共に笑ったり、さんばった仲間、懐かしい先輩、後輩、先生方に久しぶりに会って、思い出を話し合いました。

私は今年八十四歳になりました。後何回出席できるか分かりませんが、生きていけるうちは参加するつもりです。ぜひ懐かしい顔を見せてください。同級生を誘って参加してください。

## 学びの記憶

恩師 名塚暢子

平成十年から閉課となる二十三年までの十三年間、芸術(書道)と国語の非常勤講師として勤務しました。同窓会の皆様に『恩師』などと扱っていただくのは、おこがましく思いつつも大変ありがたく思っております。

勤務当初は週一日、書道を二学年三時間、後半五年は加えて国語も担当しました。常に願っていたことは、働きながら慌しく過ぎていく学校生活の中で、何かひとつでも記憶に残して欲しい、ということでした。彼らが大人になり、子を持ち、子供



の宿題を見た時、「ああ、習ったなあ」「覚えさせられたなあ」となってくれたら、と。

閉課となり早や十年になろうとする今、皆立派な社会人となつていてほしい。彼らの日常に、定時制での学びが浮かんでいるでしょうか。

## 今もキラキラしていますか



恩師 清水美智子

定時制の授業は、まず一人ずつ呼名し出席を採ることから始まる。「〇〇君」と言うこと入口から「はい」と滑り込みセーフの人。遅刻三回が一時間の欠席の扱いになるから大変である。最近の事情には疎いが、当時の高校生の中には学校に通う意味の分からぬ人もいた。定時制は働きながら通う学校なので、とにかく卒業したいという意志がはつきりしていた。仕事を終えた足で駆けつけ一限の授業。終わると本日のメインイベントの給食が待っている。友との談笑、部活動ありと限られた枠の中に濃い時間が流れる。教室で先生方と打ち解けて話をしているのも定時制ならではの光景だった。三十年近くたっては皆さんのキラキラした瞳は爽やかな印象として残っています。

## 給食の夜学子どもか顔

私が初めて勤務した学校が三条高校の定時制でした。大学を卒業してすぐ、社会人の自覚もないままに、働きながら学ぶ生徒たちが集う学校に赴任したので。仕事を終えてからの登校なのに、みんなキラキラの笑顔。校内の調理室で用意された温かい給食(私にとっても一人暮らしの貴重な栄養源でした)を食べ、授業や部活動に生き生きと取り組む生徒たちの姿に新鮮さを覚えました。わずか三年間の勤務でしたが、その後の教員生活では経験できなかった様々な思い出があります。文化祭のステージ発表で、当時のやりりのPOPを自分で英語の歌詞に翻訳して歌ったり、生徒に交じてベースを弾いたり...

## 遅しくて眩しかった仲間たち



恩師 井之川豊

数年前には担任したクラスの卒業生にバツタリ再会し、急遽同級会を招集しました。年齢差がほとんどない生徒たちもいたもので、今も教え子としてより、仲間として思い出すことがあります。私にとつてかけがえない思い出くれたのが三高定時制の仲間たちなのです。



「働学の絆」は皆様の寄付金で支えられています。



令和2年度 事業計画

- 1.三条高等学校本部事業への積極的な参加
- 2.同窓会定時制部会 定時制部会報「働学の絆」発行

令和2年度 会計収支予算

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

収入の部

科目	前年決算額	予算額	差異	備考
前期繰越金	403,628	356,586	△ 47,042	
同窓会総会費	228,000	0	△ 228,000	新型コロナ感染の為に中止
同窓会補助金	100,000	100,000	0	同窓会本部より活動費
雑収入	30,801	0	△ 30,801	総会中止の為
事業参加費	35,000	20,000	△ 15,000	反省会 その他
会員賛助金	241,000	200,000	△ 41,000	賛助金減少見込
広告協賛金	120,000	90,000	△ 30,000	広告1社減少
合計	1,158,429	766,586	△ 391,843	

支出の部

科目	前年決算額	予算額	差異	備考
事務通信費	57,866	57,866	0	名簿配送費、その他
総会費	237,018	0	△ 237,018	総会費 新型コロナ中止
印刷代	251,684	200,000	△ 51,684	
会報配送費	135,344	135,000	△ 344	会報配送費
会議費	3,283	2,000	△ 1,283	会場借用料、その他
事業費	36,280	20,000	△ 16,280	反省会、新年会
振込手数料	11,308	10,000	△ 1,308	
三高 寄附金	30,000	30,000	0	三高 県民の森寄附
予備費	39,060	20,000	△ 19,060	
次期繰越金	356,586	291,720	△ 64,866	次年度会報費
合計	1,158,429	766,586	△ 391,843	

新型コロナウィルスに打ち勝とう

恩師 阿久津文雄

楽しみにしていたいろいろなイベントが新型コロナウィルスの感染拡大の影響により中止・延期になり、ガッカリしているこの頃です。

「不要不急の外出を自粛するよう」という要請がありました。それが対応するのは難しく、それぞれの個人の幸抱強さ、努力が必要かと思えます。

私は、外出が出来ないので室内で体力作りのために、スクワット等をしたりして身体の免疫力を高めるために頑張っています。また、七十五才までにた

まとった資料を整理したりしています。この時期どのように過ごしていきますか？

いまは、身体の免疫力を高め、新型コロナウィルスをはねのける体力をつけ、この難局を乗り切りたいと思います。



津南町 ひまわり広場

同窓会事務局へのメッセージ

第二回卒 坂井 正和

六月十三日(土)に予定された第二十回同窓会が中止となり誠に残念ですが、準備された曾根会長、野水事務局長が中心になつてご苦労された事に対して、心から感謝申し上げます。

新型コロナウィルスの感染症が拡大、私達の生活を脅かすこととなりました。私も八十四年間生きてきてオイルショック、リーマンショックなどいろいろな体験しました。七十年前、定時制に通学していた頃も苦しい時代が数年続きました。新型コロナウィルスも数年続くような気がしますが現在の医学の進歩を見ると来年のオリンピック、定時制の同窓会も無事開催されることを祈念してお互いに健康に留意して頑張つて行きましよう。

第十三回卒 野沢ミチエ

残念ですが、コロナウィルスには勝てません。

来年はこれがテーブル毎に笑い話として語ることができるようになることを祈念しています。

それまでは皆様方も私も健康に気をつけて一日一日を大切に過ごしたいものです。

編集・後記

卒業ビデオアルバムに感謝

編集委員会 野水秀勝

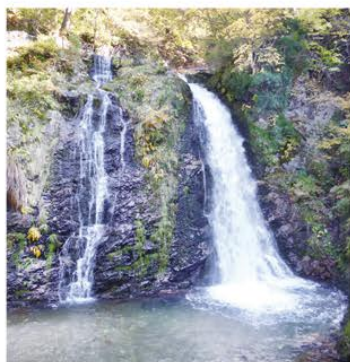
第二十回同窓会総会・懇親会中止に伴い会報掲載原稿に悩んでいたところ、恩師中島郁雄様より三高定時制時代の貴重な卒業ビデオアルバムの提供をいただきました。

三十年前の卒業ビデオアルバムが立派に記録されビデオ映像の再編集作品です。

当時の定時制在校生の元気な学生生活を曾根部会長と見ながらとても懐かしく感動致しました。

「働学の絆」三ページに写真入りで掲載いたしました。働きながら学んだ三高在学時代を懐かしく思い出し健康で新型コロナウィルスを乗り越えてもらえたらと思います。

タイムリーな提供、中島郁雄先生ありがとうございました。第二十一回総会には、皆様のお元気なお顔をお待ちいたします。



働学の絆 寄稿のお願い

令和の時代を迎え第六号の発行を無事に終了できました。同窓会員と恩師の方に支えられて趣味や健康や人生の楽しみ方などたくさん話題を掲載してまいりました。引き続き第七号への寄稿をお待ちしています。

▼ショートメッセージを大歓迎  
働学の絆に同封されている「返信はがき」で寄稿をお願いいたします。

▼自由な投書も大歓迎  
日頃考えていることや思いついた出来事など多くの方より多彩な話題を掲載できるように期待しています。封書でもおはがきでも気楽な楽しいメッセージを事務局一同心よりお待ちしております。



第21回総会御案内

皆様の参加を心よりお待ちしております。

次回のご案内

日時/2021年 6月12日(土) 第2土曜日

会場/銭心亭 おのり

時間/受付 15時00分

総会・懇親会 15時45分

会費/6,000円の予定

皆様の友人をお誘い合わせてご出席のご協力をお願い申し上げます。